

音楽科 評価計画（全学年共通）

【評価方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査 実技テスト 創作作品 提出物 発言	定期考査 練習時の様子 発言 創作作品 実技テスト 提出物	学習活動への取り組み 実技テスト 発言 提出物

【評価基準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について十分に理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を十分に身につけ、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を十分に工夫している。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞することに高まりや深まりが十分に見られる。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら、一層主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
B	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫している。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞している。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
C	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解していない。歌唱・器楽・創作において、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能が不十分である。	音楽を形作っている要素を知覚したり、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたり、音楽表現を工夫することができない。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えたり、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞することができない。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことに消極的である。

【評価から評定への総括方法】

	評定の目安	達成値
5	十分に満足と判断されるもののうち、特に程度の高いもの	90%以上
4	十分に満足と判断されるもの	80%以上
3	おおむね満足と判断されるもの	50%以上
2	努力を要すると判断されるもの	20%以上
1	一層努力を要すると判断されるもの	20%未満

